

2018年度活動報告書



一般財団法人

カンボジア地雷撤去キャンペーン

Cambodia Mines-remove Campaign

第23次カンボジアスタディーツアー

2019年2月10日～18日

訪問場所

プノンペンタワー、トゥールスレーン収容所、日本大使館、CSHD地雷原、MAG地雷原、支援先の学校4校、Little Angel、ベンメリア、地雷博物館、一之瀬泰三の墓、アンコールワット遺跡群



地雷博物館



プレホップ中学校



在カンボジア日本国大使館に堀之内秀久 大使を訪ねました。



MAG地雷原を視察

地雷原での教育支援

・CMCコーントライ夢中学校

(2008年落成/協力：佐世保青年会議所 夢スクール2008)



・卒業証書授与 ・天井FAN、LEDライト贈呈 ・給水モーター贈呈

・CMCポップイ三好小学校 (2017年落成/協力：三好不動産)



・貯水タンク補修 ・学校前道路の補修費贈呈

・CMCトゥールポンローみおつくし中学校

(210年落成/協力：大阪西ワイズメンズクラブ 株式会社データマックス)



・卒業証書授与 ・奨学生への奨学金授与

福岡教育大学インターン

期間：8月21日～9月1日 11名参加



CMCポップイ三好小学校

活動内容

- ・鬼一二三日本語学校でのボランティア
- ・CMC運営学校児童との交流活動
- ・地雷被害者インタビュー
- ・JICA現地スタッフとの交流会
- ・MCS(英語スクール)教師との交流会
- ・BBU大学にて共同講義及び日本文化のプレゼンテーション



児童との交流



鬼一二三日本語学校



BBUでの講義

今年には11名の学生の方々と2名の引率職員の方が参加されました。中にはこの研修に参加する為に福岡教育大学に入学を決めた学生さんもいらっしゃるとの事です。

参加者の報告では、カンボジア人の大らかさや子どもたちの人懐っこさに感動した話から、地雷被害者へのインタビューを通しカンボジアの負の歴史に触れた事まで、それぞれが感じた率直な思いを報告してくれました。

今後も今回の研修で感じた思いを忘れず、ぜひ一人でも多くの方に伝えていってほしいものです。



日本文化のプレゼン

養豚プロジェクト

今年度4月よりポップイ地区の村民5家庭に子豚を貸与し、実質的なスタートとなりました。現在は獣医師でもあるケア・コーンさんの家庭を中心として養豚は行われていますが、環境整備、知識の習得といった部分でまだまだ未熟な点があり、まだ出産にまで至ってません。新年度4月からは1家庭増えて6家庭となりますので、今後も状況を見守って行きたいと思えます。



中村学園大学

～ 流通科学部中村ゼミ 現地訪問 2019年2月4日 ～



中村学園大学流通科学部ゼミ生8名が中村芳生准教授引率のもと、CMCポップイ三好小学校を訪問しました。ゼミ内で昨年数回に渡って行った募金活動の成果として、児童に学用品などプレゼントをする事そしてドッジボールをして子供たちと交流する事が主な目的でした。

ドッジボールのルールの説明で子供たちは最初キョトンとしてる風で苦戦しましたが、ゼミ生によるデモンストレーションを行ったところ児童たちはあっさりすぐにルールを理解してくれました。

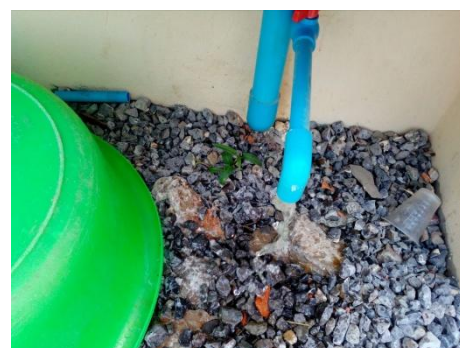
今回の場合は言葉で伝えるよりもやってみせる事の方が重要だったようです。ドッジボールは全生徒が4チームに別れてコート二面を使用して熱戦が繰り広げられました。ゼミ生の皆さんが日本で練り上げた企画は大成功だったと思います。心強い助っ人としてカンボジア在住のJICA ボランティアスタッフ4名(上原さん、日高さん、川俣さん、谷さん)の方にドッジボール指導をご協力頂きました。2ヶ月程たちますが学校では休み時間に児童たちがドッジボールで楽しげに遊んでいます。児童たちにとって素敵な思い出になったのではないかと思います。



ひまわりの泉3号機建設



ひまわり会のご支援の下、バタンバン州モーナルツセイ郡のプレホップ中学校に貯水タンク「ひまわりの泉」3号機が完成しました。プレホップ中学校はバタンバンより5号線をモーナルツセイ方面へ向かい、車で約1時間（64km）の距離にあり、CMCポップイ三好小学校から約13kmに位置します。



この円筒型貯水タンクは2018年12月12日に着工し、2019年3月19日に完成。貯水量は30,000ℓ。校舎屋根に沿って約40mの雨樋を設置し雨樋と貯水タンク間をPVCパイプで接続されています。水道の使用テストも行われ、問題なく貯水タンクが機能する事を学校の方で確認済みですので、雨季にはきれいな水で満たされることでしょう。

カンボジア地雷・不発弾被害の現状

過去4年の地雷・不発弾被害者推移(2015年～2018年)
Report Mines/ERW Casualties for the Period of: January 2015 - December 2018

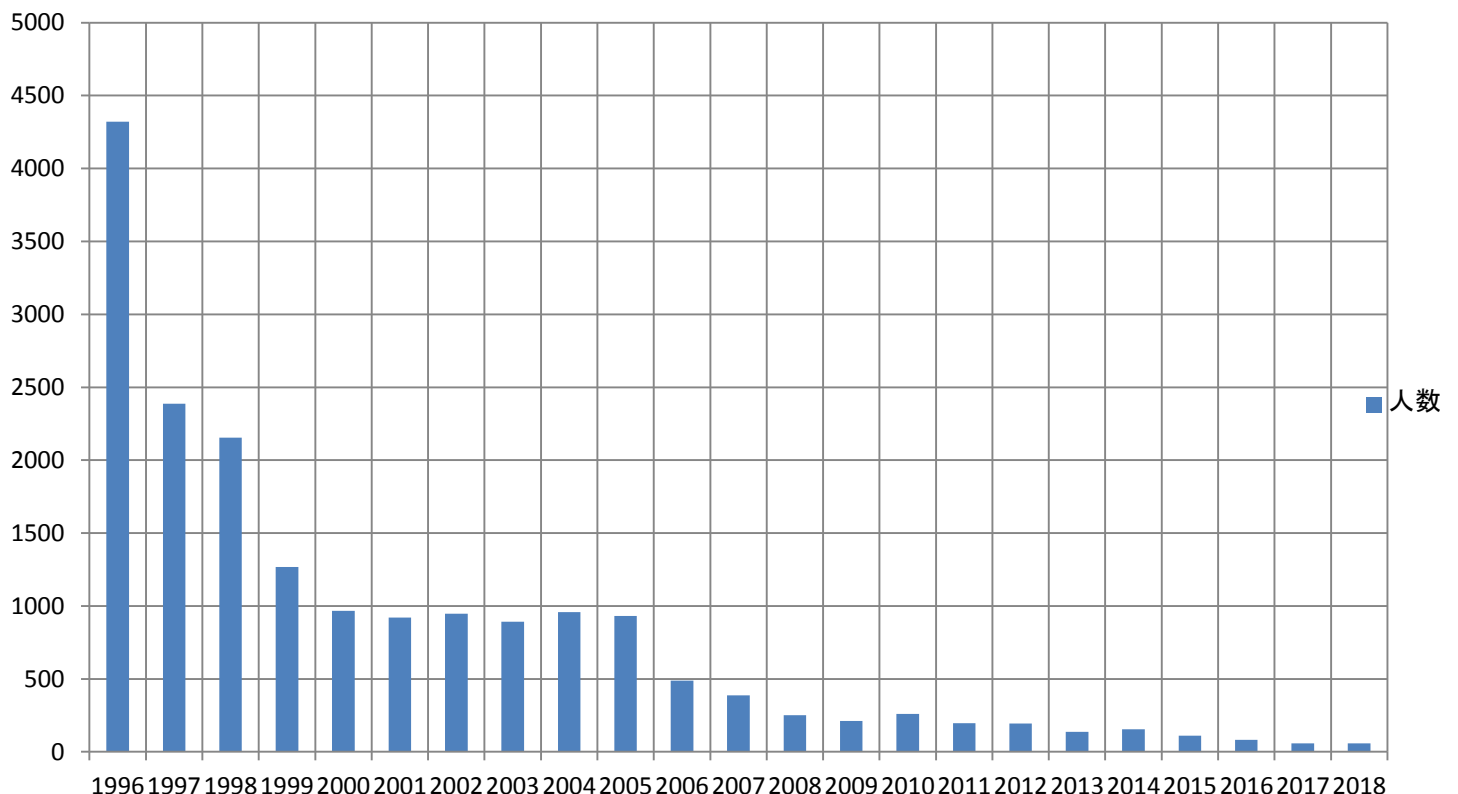
| Year | 月別被害者数 | | | | | | | | | | | | 合計 |
|---------------------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----|
| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | |
| 2015 | 13 | 16 | 11 | 5 | 12 | 10 | 8 | 5 | 5 | 8 | 16 | 2 | 111 |
| 2015年累計 | 13 | 29 | 40 | 45 | 57 | 67 | 75 | 80 | 85 | 93 | 109 | 111 | |
| 2016 | 8 | 10 | 7 | 8 | 11 | 7 | 8 | 4 | 6 | 6 | 2 | 6 | 83 |
| 2016年累計 2015-2016前年同月比 | 8 -38.5 | 18 -37.9 | 25 -37.5 | 33 -26.7 | 44 -22.8 | 51 -23.9 | 59 -21.3 | 63 -21.2 | 69 -18.8 | 75 -19.4 | 77 -29.4 | 83 -25.2 | |
| 2017 | 8 | 11 | 0 | 7 | 3 | 3 | 2 | 5 | 4 | 5 | 3 | 7 | 58 |
| 2017年累計 2016-2017前年同月比 | 8 0 | 19 5.6 | 19 -24 | 26 -21.2 | 29 -34.1 | 32 -37.3 | 34 -42.4 | 39 -38.1 | 43 -37.7 | 48 -36 | 51 -33.8 | 58 -30.1 | |
| 2018 | 5 | 7 | 5 | 7 | 6 | 1 | 1 | 11 | 6 | 1 | 4 | 4 | 58 |
| 2018年累計 2017-2018前年同月比 | 5 -37.5 | 12 -36.8 | 17 -10.5 | 24 -7.7 | 30 3.4 | 31 -3.1 | 32 -5.9 | 43 10.3 | 49 14 | 50 4.2 | 54 5.9 | 58 0 | |

出典：C.M.A.A report2018

過去4年において地雷・不発弾の被害者は確実に減少傾向にある。2018年は地雷・不発弾事故発生件数39件、地雷被害者数58名となっている。事故発生場所はカンボジア18州に及んでおり、カンボジア国土の広範囲でまだまだ地雷・不発弾の除去が行き届いてないという現状を知ることができる。

CMVIS公式では1979年～2018年の地雷・不発弾被害者数累計は64,778名とされており（死者：19,768名）、79%が地雷被害、21%が不発弾被害となっている。

地雷・不発弾被害者数



CMCセクソク林田小学校建設



Sek sak 村

バッタバン州ラタナックモンドル郡教育省よりかねてからCMCに要請のあった小学校建設が林田グループ（福岡県飯塚市）様の支援のもと2018年12月12日に着工致しました。バタンバンより国道57号線をパイリン方面へ向かい、車で約1時間（56km）に位置します。

この学校周辺も以前は地雷原でした。直近では2015年に地雷事故が発生しています。



老朽化した校舎（2018年12月）



2019年3月末現在の児童数は94名ですが、教室数が不足しているため待機児童が発生しています。床が地面に剥き出しであるので、雨季になると授業困難な日が続いてしまうという現状でした。



2018年10月27日、大谷理事長の下セクソク小学校を訪問し、校舎建設位置の確認やその他詳細の最終確認を行いホム・サローン校長に新校舎建設の確約を致しました。ホム・サローン校長からは学校関係者だけでなく村総出での事業協力を行う事を約束頂きました。



2018年12月12日



2019年3月31日現在 (2019年5月中旬完成予定)



2018年度 書き損じハガキ回収キャンペーン ご報告

2018年4月1日～2019年3月31日

【回収結果(2019/3/31 時点)】 ご支援者 学校/団体様：140 個人様：586

ハガキ

4,190,291 円

96,521 枚分

切手

1,389,068 円

テレカ

369,813 円

1313 枚分

総額 **5,949,172 円**

※実際の換金額とは異なります。

ご支援頂いた皆様誠にありがとうございました。頂いた支援金の寄付先を報告いたします。

【寄付先】(2019年2月スタディツアーにて)

➤ MAG (Mines Advisory Group)

イギリスが運営する NGO で 1989 年より活動を開始し、カンボジアの他約 40 ヶ国以上で活動を展開している。



➤ CSHD (Cambodian Self Help Demining)

幼い頃、少年兵として戦い自らも地雷を埋めた経験を持つアキラ氏が代表を務める地雷撤去団体。アキラ氏がこれまでに撤去した地雷の数は5万個以上。撤去した地雷などは多くの人に知ってもらう為にカンボジア地雷博物館に展示されている。



支援金は、CMCの現地活動にも役立っています

CMCは現地に事務所を置き、今のような支援が必要かを考え様々なプロジェクトを実施しています。

ラジオ番組の制作・放送



地雷被害者のメンタルケアを目的とし、被害者の心の声を紹介。被害状況や被害に合わないための注意喚起、就業支援などの情報提供なども行っています。

学校建設



元地雷原の seksok 村に 5 校目となる学校建設がスタート。これまで家から学校までの距離が遠く、学校へ通う事ができなかった子供たちも、この新しい学校ができる事で通学する事ができるようになります。完成後は約 110 名の生徒が新しい学校へ通う事となります。2019 年 6 月落成予定。

学校の運営支援



CMC コントライ夢中学校
(2008/9 月落成)



CMC トゥールボンローみおつ
くし中学校 (2010/12 月落成)



CMC ボップイ三好小学校
(2017/11 月落成)

講演活動、国際理解授業

2018年度 講演一覧

5月 9日 福岡市立西新小学校
5月29日 高槻市立南大冠小学校
6月 7日 粕屋町立粕屋西小学校
6月 8日 福岡教育大学
6月11日 筑紫野市立二日市東小学校
6月15日 福岡市立住吉中学校
6月27日 福岡市立高宮中学校
7月 7日 大阪市立梅南中学校
7月13日 飯塚市立二瀬中学校
9月 7日 ニュートン高等専修学校
9月15日 福岡市立友泉中学校

1月21日 飯塚市立庄内中学校
2月 1日 須恵町立須恵第一小学校
2月 5日 福岡市西新公民館
3月 3日 国際IC九州サークル

世界にも目を向ける地球人としての視点を

CMCでは小学校から大学、行政・諸団体等へ、平和・人権・国際協力などに関する講演や授業の講師派遣も行っています。日本ではニュースにならない地雷被害の現状や、地雷模型を使った説明を取り入れた授業を展開します。

実際に現地でも活動している国際NGOだからこそ、現地の状況や本当に必要な支援とは何かを伝えることができます。

また、日本各地にボランティアで関わっているCMCメンバーがおりますので、全国各地で講演を行っています。



福岡教育大学にて講演



粕屋町立粕屋西小学校



高槻市立南大冠小学校にて講演



筑紫野市立二日市東小学校



大阪市立梅南中学校



ニュートン高等専修学校



飯塚市立庄内中学校にて講演

決 算 報 告 書

(第 8 期)

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

福岡市早良区西新1-7-10-702

電話 : 092 - 833 - 7676

貸借対照表

平成31年 3月31日 現在

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

(単位： 円)

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|---------------|-----------|---------------|-----------|
| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
| 【流動資産】 | 1,498,365 | 【流動負債】 | 1,229,209 |
| 現金及び預金 | 1,258,365 | 未払金 | 1,013,308 |
| 未収入金 | 240,000 | 未払法人税等 | 71,000 |
| | | 預り金 | 144,901 |
| | | 負債の部合計 | 1,229,209 |
| | | 正味財産の部 | |
| | | 【正味財産】 | 269,156 |
| | | 剰余金 | 269,156 |
| | | その他剰余金 | 269,156 |
| | | 繰越剰余金 | 269,156 |
| | | 正味財産の部合計 | 269,156 |
| 資産の部合計 | 1,498,365 | 負債及び正味財産合計 | 1,498,365 |

事業会計収支計算書

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

(単位： 円)

| 科 目 | 金 額 | |
|-----------------------|------------|------------|
| 【収入】 | | |
| 寄 付 金 収 入 | 17,597,106 | |
| 事 業 収 入 | 9,553,920 | |
| 売 上 高 合 計 | | 27,151,026 |
| 【原価】 | | |
| 当 期 仕 入 高 | 2,287,830 | |
| 合 計 | 2,287,830 | |
| 原 価 | | 2,287,830 |
| 売 上 総 利 益 金 額 | | 24,863,196 |
| 【事業費及び管理費】 | | |
| 事 業 費 及 び 管 理 費 合 計 | | 22,672,627 |
| 営 業 利 益 金 額 | | 2,190,569 |
| 【その他収入】 | | |
| 受 取 利 息 | 29 | |
| 雑 収 入 | 337,160 | |
| 営 業 外 収 益 合 計 | | 337,189 |
| 経 常 利 益 金 額 | | 2,527,758 |
| 税 引 前 当 期 純 利 益 金 額 | | 2,527,758 |
| 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税 | | 71,000 |
| 当 期 純 利 益 金 額 | | 2,456,758 |

事業費及び管理費内訳書

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

(単位： 円)

| 科 目 | 金 額 |
|---------------|------------|
| 給 料 手 当 | 5,129,996 |
| 雑 給 | 415,600 |
| 法 定 福 利 費 | 772,589 |
| 福 利 厚 生 費 | 20,410 |
| 外 注 費 | 297,500 |
| 広 告 宣 伝 費 | 119,440 |
| 接 待 交 際 費 | 651,317 |
| 会 議 費 | 84,658 |
| 旅 費 交 通 費 | 745,754 |
| 通 信 費 | 459,097 |
| 消 耗 品 費 | 155,450 |
| 事 務 用 消 耗 品 費 | 37,377 |
| 水 道 光 熱 費 | 120,305 |
| 新 聞 図 書 費 | 2,106 |
| 諸 会 費 | 40,000 |
| 支 払 手 数 料 | 2,014,587 |
| 車 両 費 | 169,083 |
| 地 代 家 賃 | 999,000 |
| リ ー ス 料 | 845,784 |
| 保 険 料 | 156,760 |
| 租 税 公 課 | 400 |
| 支 払 報 酬 料 | 248,400 |
| 寄 付 金 | 1,779,212 |
| イ ベ ン ト 経 費 | 2,613,482 |
| 減 価 償 却 費 | 174,118 |
| 現 地 活 動 費 | 4,606,542 |
| 雑 費 | 13,660 |
| 事業費及び管理費合計 | 22,672,627 |

株主資本等変動計算書

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

(単位： 円)

【正味財産】

| | | | | |
|-----------------|-------|---------|--|--------------|
| 資 本 金 | 当期首残高 | | | 0 |
| | 当期末残高 | | | 0 |
| 剰 余 金 | | | | |
| そ の 他 剰 余 金 | | | | |
| 繰 越 剰 余 金 | 当期首残高 | | | -2, 187, 602 |
| | 当期変動額 | 当期純利益金額 | | 2, 456, 758 |
| | 当期末残高 | | | 269, 156 |
| 利 益 剰 余 金 合 計 | 当期首残高 | | | -2, 187, 602 |
| | 当期変動額 | | | 2, 456, 758 |
| | 当期末残高 | | | 269, 156 |
| 株 主 資 本 合 計 | 当期首残高 | | | -2, 187, 602 |
| | 当期変動額 | | | 2, 456, 758 |
| | 当期末残高 | | | 269, 156 |
| 正 味 財 産 の 部 合 計 | 当期首残高 | | | -2, 187, 602 |
| | 当期変動額 | | | 2, 456, 758 |
| | 当期末残高 | | | 269, 156 |